

入院診療計画書② 乳房切除術 ドレーンあり症例

ID: 患者ID _____

新規作成日: 新規作成日 _____

氏名: 氏名 _____

日付					~			
経過	1日前	手術前	手術後	1日後	2日後~4日後	5日後	6日後	7日後
目標	ボディイメージの変調を受け入れることができる 手術について理解できる		合併症の症状・所見がない		縫合不全の症状・所見がない		日常生活の注意点について理解できる	
			疼痛のコントロールができています		ドレーンに問題がない			
注射		午前中の手術の場合は手術室にて点滴を行います。午後の手術の場合は病棟で点滴を行います。	手術後も引き続き点滴を行います。抗生剤の点滴を行います。	昼まで点滴は終了です。				
投薬	常用薬については看護師に全てお知らせください。	当日決められた内服薬以外は中止です。		常用薬をいつから服用するかは、飲水が許可されてから、看護師に確認してください。				
検査				朝採血します。				
放射線			手術後に胸部ポータブルX線撮影があります。					
処置	入院時に身長と体重を確認します。		帰室後から吸入療法を適宜実施します。 溜まった血液を逃がすための管が創部に留置されます					
	手術前日にRIセンチネルリンパ節生検の予定の方は、16時30分に放射線治療室にて手術部位の確認があります。		心電図を装着します。 両下肢に血栓予防の圧迫帯を装着します。 酸素を吸入します。手術の翌日まで排尿量を測定します。					
食事	手術部位を示す印をサインペンでつけます（翌朝になる事もあります）		医師が回診時に創部を診察します					
	22時以降は絶食です。 水分は翌6時まで摂れます。それ以降は飲食できません。	朝6時以降は飲食できません。	引き続き飲食できません。	朝から食事ができます。 食事摂取量を確認します。	病院で出された食事をお召し上がり下さい。それ以外の飲食をされる場合は看護師に確認してください。 看護師が食事摂取量を確認します。			
清潔	入浴またはシャワー浴を行っていただきます。 マニキュア・化粧は落として下さい。	洗面、歯磨きは朝のうちに済ませてください。		体調やご希望に応じてお体を拭いて着替えをします。看護師がお手伝いします。	創部に入っている管が抜けるとシャワー浴が出来ます。 ※退院後の入浴は最初の外来で医師の許可が出てからにしてください。			
排泄			尿道留置カテーテル挿入	状態が良ければ尿道留置カテーテルを抜きます				
活動	活動の制限はありません。		ベッド上安静となります。身体を動かすときは看護師と共に行います。安全のためにベッド柵を設置します。	活動に制限はありませんが、点滴や管がありますので、一人での活動は看護師に確認してから行うようにご協力ください。	活動の制限はありません。積極的に離床しましょう。			
	リハビリ室にて手術前の腕の動きを調べます。			リハビリテーション（上肢の機能訓練）				
看護ケア	血圧、熱等を測定します	血圧、熱等を測定します	適宜、血圧・体温などを測定します。 夜間も測定します。	起床時、午前、午後、就寝前に体温や血圧を測ります				
確認事項	手術の同意書を看護師まで提出してください。 入院診療計画書をお渡しします。							
指導	入院生活について説明します。手術に必要な物品の確認をします。		手術後、腕の安静が必要になる事があります。腕を動かす範囲は医師または看護師が説明します。					
	手術説明の日は入院後病棟にてお知らせします。 説明の際はご家族の同席をお願いします。 麻酔科医と手術室看護師の訪問があります。 わからないことや、不安なことがありましたら遠慮せずお聴きください。			痛み止めを使いながら看護師と少しずつ身体を動かしていきます。	パンフレットをお渡しし、退院後の日常生活の注意点・リンパ浮腫指導についてお話しします。 状態により退院日が前後することがありますのでご了承下さい。 手術をしたほうの腕で重たいものを持たないようにしましょう。お仕事のある方は医師と相談してから始めましょう。 看護師が次回外来スケジュールや診察券をお渡しします。お部屋でお待ち下さい。			
経過表			手術後の合併症予防につとめます 退院まで手術部位に異常がないか確認します。 痛みが強い時には痛み止めを使いますので遠慮せず伝えてください。					